

国際学部 国際学科（取得可能免許種：中学校・高等学校／英語）

国際化・高度情報化社会において必要とされるのが、世界共通語としての英語コミュニケーション能力の修得、グローバル化する社会の中で、自ら課題を発見し、その解決に向けて必要な方法を提案できる力を修得し、また、様々な課題の発見・解決において、新しい発想を生み出す柔軟な思考力・判断力の修得である。

こうした教育方針をベースに、同学科では大学の教員養成に対する理念に基づき、主として以下の点に重点をおきながら、高度な資質をもつ教員の養成を目指す。

- （ア）教育者としての使命感をもち、日々工夫し研鑽する態度を持ち続け、人間的に尊敬される教員を育成するため、「教育の基礎的理解に関する科目」や「教科及び教科の指導法に関する科目」を通して、教職に関する理解を深める。また、教師の役割や求められる資質能力等については、講義を中心にテキスト・資料の事前学習に基づくグループワークによって、基礎的な資質能力を修得する。さらに学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、さまざまな形で支援方法に関して、講義やグループディスカッション等を通じて実践的に学ぶ。このほか、幼児、児童および生徒の心身の発達および学習の過程や意欲、学校における人間関係、個に応じた教育について学ぶ。学習活動と関係の深い人間の認知活動についても理解する。
- （イ）高度で実践的な言語運用能力とともに、言語の背景にある文化や社会についても深い知識をもち、異文化を尊重する態度を指導できる教員を育成するため、「教科及び教科の指導法に関する科目」を通して、英語によるコミュニケーションに必要な知識とスキルを理解する。英語による活動を多く体験しながら、文化的背景の異なる相手に対して、相手を尊重しながら英語で意思疎通を図る能力を身につける。このほか、さまざまな英語圏諸国の歴史や文化を学び、その知見に基づいて日本と英語圏諸国のさまざまな文化的交流のあり方について考える。また、現代のグローバル環境における人種、民族問題、さらにはメディアを通じた異文化理解の問題について、基礎的な知識、理解、当事者意識を身につける。
- （ウ）語学教育に関する専門的な知識と技術をもち、教育の現場で信頼される人材を育成するため、「教科及び教科の指導法に関する科目」や「大学が独自に設定する科目」を通して、中学校や高等学校の英語教員を目指す上で修得すべき英語科教育の知識や技術について、理論的側面と実践的側面から学ぶ。また、新たな英語教育方法に向けて、最新の教材やICTの活用方法を学び、生徒の特性や習熟度に応じた指導に活用する。さらに、実際の教育現場である大学近隣の中学校あるいは高等学校において、年間を通じて授業補助、学習支援、学校行事、課外活動等を幅広く体験し、自己の適性を把握する機会をもち、人間的成長や社会意識の向上、ならびに教員としての資質能力や使命感を高める。